

えがおを、ずっと。えがおに、ずっと。



第93期株主通信

2022年4月1日から2023年3月31日まで

川本産業株式会社

証券コード 3604



会社概要

■会社概要 (2023年3月31日現在)

社名 川本産業株式会社
設立 1931年1月
資本金 883,000,000円
従業員数 232名(単体、出向・契約・パートアルバイト除く)

■役員 (2023年6月20日現在)

※代表取締役社長	福井 誠
※常務取締役	吉田 康晃
※取締役	小澤 徹也
※取締役	内海 博明
※取締役	吉村 真健太郎
取締役監査等委員	福田 伸明
取締役監査等委員(社外)	親泊 美帆
取締役監査等委員(社外)	小寺 玉
取締役監査等委員(社外)	小玉 稔

※印の取締役は、執行役員を兼務しております。

■執行役員 (2023年6月20日現在)

上席執行役員	濱口 武之亮
上席執行役員	花村 寿
執行役員	河野 正哉
執行役員	東島 真和
執行役員	山田 精誠
執行役員	藤本 和
執行役員	梶原 精誠

■事業所

本社	大阪府大阪市中央区谷町2-6-4 谷町ビル
東京支社	東京都中央区新川1-24-1 DAIHO ANNEX 8階
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区千代田5-5-15
広島営業所	広島県広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル9階
大阪工場	大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20

子会社	浙江川本衛生材料有限公司 中国浙江省
	ニシキ株式会社 福岡県福岡市博多区網場町8-23 朝日生命福岡昭通ビル2階
	株式会社サカキL&Eワイズ 三重県松阪市上川町3639-21
	クロス工業株式会社 兵庫県尼崎市南武庫之荘1-17-1

■株主メモ (2023年3月31日現在)

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月下旬
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
上場取引所 スタンダード市場
証券コード 3604

■株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数……………16,000,000株
発行済株式の総数……………6,000,000株
株主数……………4,309名

■大株主 (2023年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
エア・ウォーター株式会社	2,903	50.10
株式会社TK	269	4.65
MSIP CLIENT SECURITIES	249	4.30
川本 武	243	4.20
株式会社日本カストディ銀行	50	0.87
楽天証券株式会社	36	0.63
佐々木 愛子	36	0.62
小津産業株式会社	33	0.58
川本 稔	28	0.48
株式会社大木	26	0.45

※1. 持株比率は自己株式(204,480株)を控除して計算しております。
※2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

川本産業株式会社

〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町2-6-4 谷町ビル TEL.06-6943-8951



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インクを使用しています。

トップメッセージ



代表取締役社長執行役員 **福井 誠**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第93期(2022年4月1日から2023年3月31日)株主通信をお届けいたします。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の第7波・第8波となる感染者数の増加、ロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的な資源価格の上昇や急激な円安進行など、厳しい事業環境が続きました。

新型コロナウイルス感染症につきましては、2022年度においても収束することはなく、感染管理製品も一定の需要が継続いたしました。しかし、感染が拡大した2020年度と比較すると感染管理製品の需要も徐々に減少しており、製品の供給も安定してきたことから、取引価格も下落傾向にあります。今後、新型コロナウイルス感染症は徐々に収束していくと思われませんが、当社は感染管理製品が皆様の健康を支える重要な製品と認識し、引き続き製造や開発、販売に力を入れていきたいと考えております。

また、2022年12月に包帯やインナーウェアを製造・販売しているクロス工業株式会社を子会社化いたしました。包帯などの衛生材料の内製化はもとより、ベトナムにある工場を活かし、BCP対策や海外販売の拡大に取り組んでまいります。

配当につきましては、期末配当を16円とさせていただきます。每期増配を実現しておりますが、中期的には配当性向25%を目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

経営体制

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長執行役員	福井 誠	ニシキ株式会社取締役 クロス工業株式会社取締役
常務取締役執行役員	吉田 康晃	経営企画・管理統括 兼 経営企画室室長 兼 内部監査室室長 浙江川本衛生材料有限公司董事 ニシキ株式会社取締役 株式会社サカキL&Eワイズ取締役 クロス工業株式会社取締役
取締役執行役員	小澤 徹也	購買物流・品質保証統括 兼 購買物流本部本部長 浙江川本衛生材料有限公司董事長
取締役執行役員	内海 博明	生産統括 兼 生産本部本部長 株式会社サカキL&Eワイズ取締役
取締役執行役員	吉村 真信	営業統括 兼 メディカル営業本部本部長 ニシキ株式会社取締役 クロス工業株式会社取締役
取締役(監査等委員)	福田 健太郎	エア・ウォーター株式会社顧問 公益財団法人浅香山病院評議員 国立大学法人神戸大学特別顧問
社外取締役(監査等委員)	親泊 伸明	日本経営ウィル税理士法人顧問 社会保険労務士法人日本経営代表社員 税理士親泊伸明事務所代表
社外取締役(監査等委員)	小寺 美帆	弁護士法人大江橋法律事務所パートナー
社外取締役(監査等委員)	小玉 稔	ジャパンエステート株式会社顧問

経営理念

経営理念

基本方針

一 我々は豊かな生活を営む為 全社一丸となって
社会に認められる一流企業への道を拓く

二 我々は常に消費者の立場にたつて一歩勝れた
特徴をもつ優秀な品質の商品を提供する

三 我々は事業を通じて国家社会に貢献し接する
人々との交流により人格の向上をはかる

我が社は常に進歩を求め社会の
保健衛生の向上と豊かな衣生活の
充実の為 堅実な発展を続ける

第93期 通期業績

第93期(2022年4月1日から2023年3月31日)の業績は、既存事業の拡大に加え、新製品の上市や新規のM&Aなどにより増収となったものの、原材料価格の高騰や急激な円安の進行、また物流費やその他経費の増加により減益となりました。結果、連結での業績は、売上高30,403,907千円(前年同期比1.0%増)、営業利益692,173千円(同6.6%減)、経常利益824,906千円(同3.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益747,405千円(同16.3%増)となりました。配当につきましては、当初公表通りの1株あたり16円いたしました。

売上面では、感染管理製品や口腔ケア製品を重点的に拡販したことに加え、医療機器等の製造受託の拡大に積極的に取り組み、売上が拡大いたしました。また新製品のカラーマスク「MASMiX(マスマックス)」がヒットし、コンシューマ事業の自社品の売上が大きく増加いたしました。また、クロス工業株式会社が新規に連結されたことで売上が増加しております。利益面では、原材料価格や光熱費等の上昇、急激な円安による輸入品価格の高騰などマイナス影響があったものの、「MASMiX(マスマックス)」のヒットや生産効率の改善に取り組んだ結果、売上総利益率は改善いたしました。一方で、物流費や広告宣伝費の増加、M&Aに関する手数料などの計上により、経費は増加し減益となりました。

また特別利益として、クロス工業株式会社の株式取得により発生した負ののれん発生益を計上したことで、親会社株主に帰属する当期純利益は増加いたしました。

第94期(次年度)の見通し

現在進行している第94期におきましては、原材料価格の高騰、円安による輸入品価格の上昇、電気料金をはじめとする水道光熱費や物流費の増加など、厳しい事業環境が継続すると予想されます。

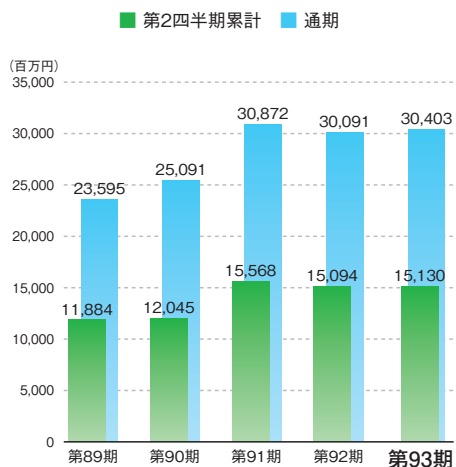
このような厳しい事業環境の中、当社は「自社製品の拡大」と「利益率の改善」を重要テーマとして取り組みを行ってまいります。自社ブランドの感染管理製品や口腔ケア製品、介護用品の積極的な販売、市場のニーズに応える新製品の開発や医療機器を中心とした製造受託の拡大を図ってまいります。加えて、医療や介護、育児に関する事業を営む企業のM&Aも実施していきたいと考えております。

また、中長期的な事業拡大のために人的資本の重要性を再認識し、従業員の多様性及び専門性を高める取り組みや、次世代の経営幹部の育成に力をいれてまいります。

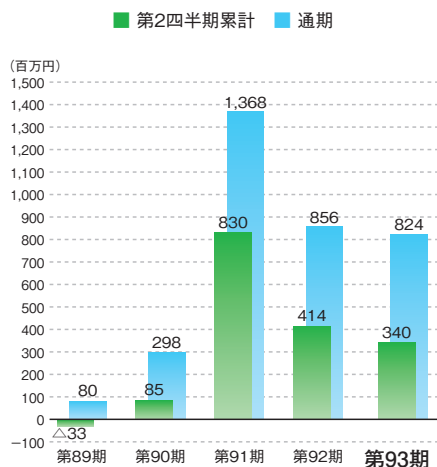
業績予想といたしまして、売上高31,000,000千円(前期比2.0%増)、営業利益780,000千円(同12.7%増)、経常利益830,000千円(同0.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益576,000千円(同22.9%減)を見込んでおります。

配当は18円を予定しております。今後も株主の皆様への利益還元として、安定的な配当の実施は元より、每期、増配が実現できるよう努めてまいります。

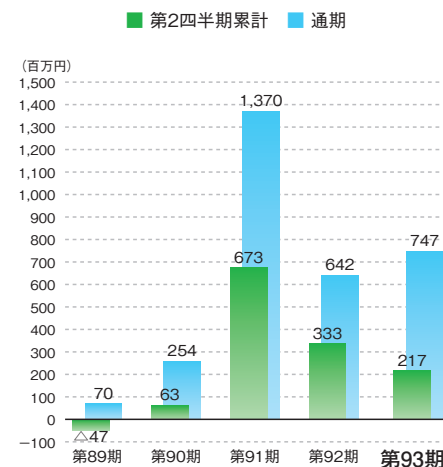
売上高



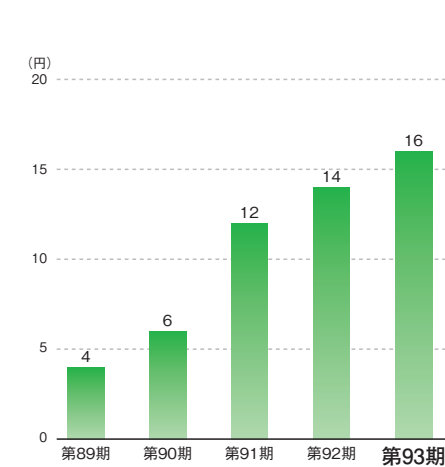
経常利益



当期純利益



配当



メディカル事業

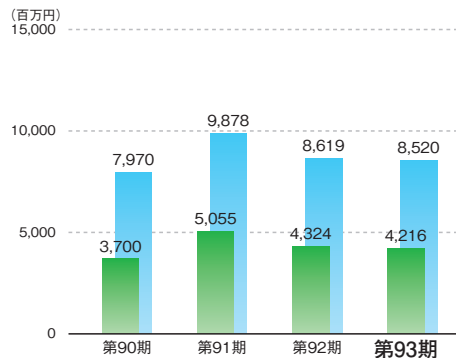
メディカル事業では感染管理製品や口腔ケア製品、手術関連製品の拡販及び製造受託の拡大に努めました。感染管理製品につきましては、新型コロナウイルス感染症の第7波・第8波により、販売数は堅調に推移いたしました。販売単価が下落している製品もあり、売上は減少いたしました。手術関連製品におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染者数増加を受けて一部の医療機関で手術件数が減少したことにより、売上は減少しております。一方、口腔ケア製品につきましては、積極的な販売促進活動により、売上は増加いたしました。また、医療機器等の製造受託では積極的な営業活動に取り組んだ結果、売上が増加しております。利益面では、原材料価格や光熱費等の上昇に加え、円安により輸入している製品の仕入価格上昇の影響を受け、売上総利益率は減少いたしました。

以上の結果、売上高は8,520,964千円(前年同期比1.1%減)、経常利益は358,556千円(同7.0%減)となりました。



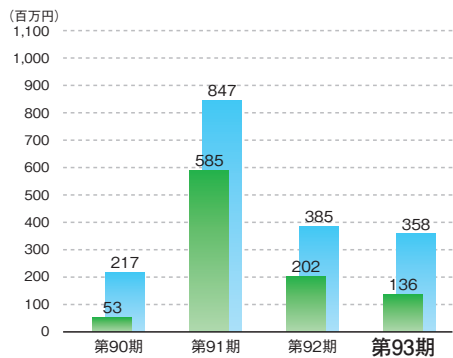
売上高

■ 第2四半期累計 ■ 通期



セグメント利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期



コンシューマ事業

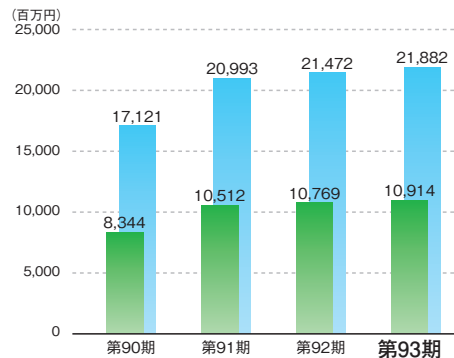
コンシューマ事業では、感染管理製品をはじめとして育児用品、介護用品、口腔ケア製品、各種衛生材料及び医療用品等の幅広い製品を、大手量販店やドラッグストア、通信販売事業者などの多くの顧客に対し積極的に販売いたしました。国内卸売事業においては、特に専門店や通信販売事業者向けの売上が好調に推移しております。国内製造事業においては、新製品のカラーマスク「MASMiX(マスマックス)」の販売が好調に推移し、売上が増加いたしました。経費面では、国内卸売事業の売上増加に伴い物流費が増加しております。

以上の結果、売上高は21,882,943千円(前年同期比1.9%増)、経常利益は1,024,936千円(同6.0%増)となりました。



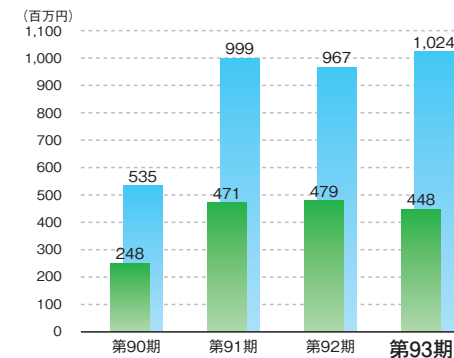
売上高

■ 第2四半期累計 ■ 通期



セグメント利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期



MASMiX 30枚入 2022年12月 発売

新発売

フィルター性能に加えてカラー・シルエット等のファッション性にもこだわったカラーを楽しむ立体形状マスク「MASMiX(マスマックス)」に、大容量30枚入を追加いたしました。

- ◆メイク汚れが目立ちにくい内側カラー
- ◆マスクと耳ゴムの色が異なるツートーンカラー
- ◆口元の空間が広く呼吸がしやすい



ラテベージュ
×ワインレッド

パールライラック
×ダークグレー

マウスピュア 口腔ケアウエットガーゼ ピロータイプ 2023年1月 発売 新発売

既存タイプ(100枚入)よりも持ち運びがしやすく、少量使い切りタイプの「マウスピュア 口腔ケアウエットガーゼ ピロータイプ (30枚入)」を新発売いたしました。

- ◆ネバつく汚れもキレイに取れる
- ◆ノンアルコールで乾燥したお口にも使いやすい
- ◆破れにくい丈夫な不織布
- ◆お口うるおう保湿成分配合
(保湿成分)ヒアルロン酸Na, PG, ペタイン

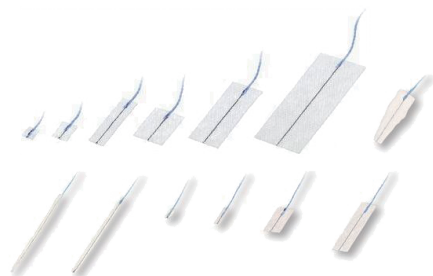


滅菌ベンシーツXD 2023年1月 発売

新規格

脳神経外科用シーツ「滅菌ベンシーツXD」に新規格7品目を追加いたしました。滅菌ベンシーツXD(薄手タイプ)の特徴はそのままに、医師の要望に応えたラインナップをご用意しました。

- ◆薄手シーツなので狭い術野での操作性に優れ、術野の妨げにならない
- ◆柔軟性が高く、脳表面に沿いやすい
- ◆シーツを丸めて使用する際にも便利
- ◆X線造影糸が長いいため、X線により容易に判別できる

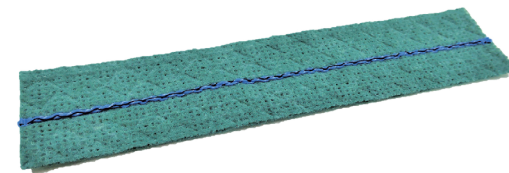


GGプロジェラ 2023年2月 発売

新発売

鏡視下手術用の緑色に着色した高吸液タイプの不織布である「GGプロジェラ 30mm×150mm」を新発売いたしました。

- ◆ハレーションを低減
- ◆白色綿ガーゼよりも約1.3倍の吸水量
(※自社調べ)
- ◆吸液時に臓器との判別が容易
- ◆内径12mm以上のトロカールから挿入・抜去が可能
- ◆X線透過装置で撮影時、判別が容易



布アイパッチ こども用 2023年3月 発売

リニューアル

粘着剤でかぶれやすいお子様のための、メガネにかぶせる「布アイパッチ こども用」をリニューアル発売いたしました。

- ◆メガネに装着して使用が可能
- ◆直接お肌に貼らないため、粘着剤でかぶれやすいお子様に安心
- ◆ワンタッチテープで簡単に装着可能
- ◆左右兼用



MASMiX 新カラー 2023年3月 発売

新発売

2022年12月発売の30枚入に続き、「MASMiX(マスマックス)」に新しいカラー4色が加わりました。



アンバーホワイト
×ワインレッド

サンドベージュ
×ブラック

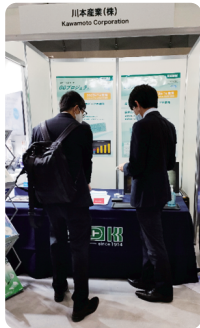
マカロンピンク
×スモーキーローズ

ベビーブルー
×ブラック

展示会報告

第35回日本内視鏡外科学会総会

会期 2022年12月8日(木)
～10日(土)
会場 ポートメッセなごや



西日本医療品総合展示会

会期 2023年1月18日(水)～19日(木)
会場 大阪・天満橋 OMM 2階展示大ホール



ESG報告 カーボン・オフセットへの取組み

■ エア・ウォーターグループの取組み

当社が属しているエア・ウォーターグループは、経営理念やパーパス「地球の恵みを、社会の望みに。」のもと、次の世代に住みよい地球と社会の実現を目指しています。2050年の目指す姿として「地球、社会との共生により循環型社会を実現する」というサステナブルビジョンを掲げています。

■ 植樹活動のご報告

当社は、国が認証するJ-クレジット制度を活用し、温室効果ガス削減に取り組んでおります。2022年11月に行われた植樹活動では、全18種類、合計135本の苗木を植えました。今回の植樹活動によるカーボン・オフセットへの活用方法につきましては、今後検討し、2023年度も引き続き植樹活動を行ってまいります。



ESG報告 ガバナンス強化への取組み

■ 人材育成方針

当社グループは、経営目標達成のためグループ全体でのマネジメント人材の流動化を図り、経営人材の育成が可能な環境整備を進めております。

また、当社グループにおける、人材の多様性の確保を含む人材の育成及び社内環境整備に関する方針として、当社グループ内の機能別に採用戦略・育成計画を策定するとともに、年次ごとに経営計画に合わせてグループ全体で人材の最適配置を示しております。これらの方針を基に、引き続き人的資本活用の最大化を目指してまいります。

■ 多様性

当社では性別、国籍、中途採用などの属性に関係なく、採用や管理職への登用を行っております。全管理職における女性の比率は2023年3月時点で8%ですが、今後は女性管理職の比率を10%以上にすることを目標としております。

また、時短勤務や在宅勤務、男性従業員の育児休業取得制度の導入など、多様な社員が活躍しやすい社内環境づくりを進めております。

株主通信の電子化予定のお知らせ

当社では以前より、「株主通信」を株主の皆様へご送付しておりましたが、地球環境に配慮した省資源化の観点等から、次回「第94期中間株主通信」より、郵送を廃止させていただきますことになりました。

今後は、当社ウェブサイト上に掲載いたしますので、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

● 当社ウェブサイト

<https://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>

上記のウェブサイトアクセスし、メニューより「株主・投資家情報」「最新IR資料」「株主通信」を順に選択いただき、ご確認ください。